

## 津波

(長崎県島原市)



寛政4年(1792)、地震により眉山が大崩壊し有明海に崩れ落ち大津波が発生した。島原側10184人、対岸の熊本側でも4997人溺死した。

## 津波

(熊本県熊本市)



寛政4年4月1日(1792年5月21日)、島原半島の雲仙岳の噴火活動中に起きた地震により眉山の(まゆやま)東側が大きく崩れた。崩壊に伴う大量の土砂が有明海になだれ込み大きな津波を引き起こしたため、沿岸のおよそ1万5千人の人々が犠牲となった。「島原大変肥後迷惑」とも呼ばれるこの災害で、ここ旧河内村塩屋地区では、約100人が亡くなったとの記録がある。

## 土砂災害

(熊本県球磨郡五木村)



昭和38年(1963)8月17日、集中豪雨により横手谷で土石流が発生した。これにより横手地区では全戸が流出し、死者10名、行方不明者1名の大災害となった。

## 地震

(福岡県福岡市)



平成17年(2005)3月20日、福岡市玄界灘を震源とするマグニチュード7.0、震度6弱の地震により、道路が崖崩れなどにより通行止めになり、家屋被害も発生した。

## 地震

(宮崎県宮崎市)



寛文2年9月20日(1662年10月31日)午前0時、日向灘を震源とした外所(とんどころ)地震が発生し、死者200名、家屋全壊3800戸の甚大な被害が出た。当地ではこの地震による地盤沈降と津波により家屋246戸が海に没し、水死者15人の被害に見舞われた。ほぼ50年ごとに新たな碑が建立されている。

## 火山災害

(鹿児島県鹿児島市)



鳥島は高さ約20メートル周囲約500メートルの、玄武岩質岩石の島であった。1914(大正3)年1月13日、桜島西腹から流出した溶岩は18日にこの島を埋没させた。ここに碑を建ててその跡を示す。

## 火山災害

(長崎県島原市)



1990年雲仙普賢岳の噴火が始まり1991年6月3日発生した大火砕流により消防団員12名を含む43人の命が奪われた。

## 洪水

(大分県日田市)



大正10年(1921)6月17日の大雨により、三隅川が氾濫し、旧日田町では死者1名を出した。銭淵橋、小淵橋、庄手橋が流されるとともに、堤防は決壊し隅町で60cm~120cmの浸水に見舞われ、裏川原庄手中の川付近では180cm浸水するなどの被害がでた。

## 洪水

(佐賀県嬉野市)



平成2年(1990)7月2日、梅雨前線による集中豪雨で、河川氾濫、山崩れ、崖崩れが発生し、被害総額は40億円に達した。ここ七ツ川内地区においては、山崩れによる土石流が発生し道路が寸断され、家屋の倒壊・流失等甚大な被害を被った。